



鶴居村

# つるい 議会だより

## 子ども達の「未来の笑顔」のために



### キンチョウしてます あてないで!

鶴居小学校1年生の授業参観風景

#### 6月定例会

平成 28 年度補正予算・・・ P2～P5

補正予算 Q&A・・・ P6～P7

#### 5人が村政を問う

一般質問・・・ P10～P14

視察・研修・・・ P17

住民の声・・・ P18



the most beautiful  
villages  
in japan

鶴居村  
北海道



# 6億87万2千円を肉付け

# 42億円超え

12年ぶり42億5187万円



## 第2子から出産祝い金支給

200万円



子育て支援の充実を図るため、さらに少子化、人口減少対策として、第2子を出産した場合に20万円の祝い金を贈呈します。

鶴居村  
子育て応援  
牛乳券



200円補助券

●取扱店●  
鶴居村農工会加盟店  
Aコープつるいほろろ  
●有効期限●  
平成29年3月31日迄

## 子育て応援牛乳券給付

43万円

子育て支援と酪農振興などに寄与するため、就学前児童を対象に、一人につき年間1万円分の牛乳引換券の給付事業を実施します。

切れ目のない  
子育て支援策！



# 平成28年度当初予算

## 36億5100万円に

# 待ちから攻めへ

## 2期目のスタート！大石村長の掲げる

# 村政方針 3つの柱

「愛する郷土・未来の創造」「夢を抱き笑顔輝く村づくり」を村政執行の目標とし、3つの柱で村づくり！

1. 誰もが安心して笑顔で暮らせる村づくり
2. 地域や産業が輝き続ける村づくり
3. 持続可能な行財政運営と協働の美しい村づくり

夢を抱き笑顔が輝く

村づくりの推進に向けて



鶴居村長  
大石 正行

村長として2期目をスタートし、はや2ヶ月が経過しました。再び村政の執行を担うこととなり、責任の重さを痛感し身の引き締まる思いでいます。

村議会6月定例会では、私の2期目に望む村政執行の基本方針を述べさせていただき、決意の一端をお伝えしました。

今後、少子高齢化の進展や人口減少社会への対応、酪農経営や商工観光をはじめとする産業の振興などへの取り組みを進めていく考えであり、更に村政執行80周年を来年

に控え、これから、10年・20年先の村の将来方向を描く「第5次総合計画」の策定作業なども本格化させていく大切な時期となつていきます。

ふるさと鶴居村の未来を見据えながら、すべての目標や課題を議会や村民皆さんと共有させていただき、諸課題の解決や村づくりの推進に一つひとつ丁寧にあたっていく覚悟でいます。

どうぞ、村行政の推進につきましても、今後とも深いご理解とご支援も協力を切に賜りますようお願い申し上げます。



役場庁舎自動ドア設置工事



259万円

バス待合所補修等工事



421万円

肉付け予算の注目事業

笑顔が輝く移住・定住応援基金積立金

2億円

輝く住ま居る支援金交付事業

1500万円



移住・定住の促進と住宅の確保を支援するために、備荒資金組合超過納付金を原資として、2億円を積み立て「輝く住ま居る支援金交付事業」に充当します。





### 林業専用道下雪裡B線



8000万円

### 高校生インフルエンザ 予防接種助成金



予防が一番

11万円

### 除雪ロータリー車購入費



素早くきれいに

4800万円

### 醸造用ぶどう開発事業委託

181万円

### 地域おこし協力隊員配置経費

214万円



醸造用ぶどうを増産するため、苗木50本の植栽と栽培棚の新設、栽培地の整地の経費および、ぶどうの特産品開発事業の推進強化を図るため、地域おこし協力隊員1名を増員します。



一般会計補正予算

Q & A あれこれ

大津泰則議員

問 新たに地域おこし協力隊員を配置するのは？

答 現在手掛けている醸造用ぶどうの栽培をさらに本格化させるためと、地域活性化のために配置します。

問 フランスのバイオガプラントを視察した後に、農協や地元酪農家、関係団体、専門家などと組織を立ち上げる考えは？

答 現時点ではまだ組織を立ち上げる状況にはないと思います。今後の状況次第と考えます。

問 ふるさと情報館に(故)長谷川道子さんのピアノを展示しますが、演奏会などの計画は？

答 ピアノの調律もするので、演奏会などができればと考えています。

松井洋和議員

問 北斗交差点に弟子屈町・標茶町・鶴居村合設案内看板を設置し、また先日、同じ3町村で札幌で物産展を行っていますが、今後の3町村での計画は？

答 3町村での物産展は初めての試みでしたが、大変好評で効果がありました。今後推進したい。

問 鶴居東に単身者用住宅を2棟6戸、提案型買取方式で新築しますが、これで単身者住宅不足は解消しますか？

答 現段階でも6戸中5戸の入居需要はあると思えますので、ギリギリの状況です。

及川満浩議員

問 新築住宅および、中古住宅購入者に支援する制度が新設されますが、対象者が45歳以下の場合50万円加算される理由は？

答 人口減少社会の中で移住定住者の確保が必要ですが、中でも生産年齢人口の確保や、子ども子育て支援なども考慮して45歳以下の対象者に加算するものです。

問 「つるぼーの家」のラジオCMを制作し放送する内容は？

答 STVラジオの毎週土曜日に放送されている「日高昭郎ショー」に番組提供のクレジットとCMを流す予定です。

問 旧鶴居軌道車両の改修工事で外装の色については？

答 当時の色と少し違うようなので、複数の関係者と話をして再現したい。

問 高齢者等個別移送サービス事業の対象者は？

答 対象者は10人程度を見込んでいます。

問 高齢で運転免許証を返上した人に対して、個別移送サービス事業以外に補助する考えは？

答 現状、福祉バスなどを利用していただきたいと考えていますが、今後検討したい。

問 鶴居小学校が昨年引き続き道徳教育推進校に指定を受けています。道徳が今後、道徳科となりますが、村の対応は？

答 今回の事業は道徳科への移行のためではなく、本村の児童生徒の心を大切に育てていくための事業です。



北斗交差点の案内看板

## 一般会計補正予算

Q

&amp;

A

あ

れ

こ

れ

## 秋里広志議員

問 下幌呂小学校の放送設備が破損し更新するのは？

答 体育館2階にある放送室の校内放送やチャイムなどを行っている放送設備が故障し、修理もできないため更新します。工事には2か月程かかるので、夏休み明けに使えるようになります。

問 フランスのバイオガスプラントの視察に村2人、議会2人を派遣する目的は？

答 民間主導による家畜糞尿バイオガスプラントの計画では、フランスの機械・設備を使用するので、現地で実際に稼働している状況を視察すること、民間企業や農協、議会と情報を共有しながら今後取り組んでいくために大変重要であると思っています。

## 吉田保博議員

問 地域おこし協力隊員の募集については？

答 現在全国で630の自治体で約2600人の協力隊員がいて、国は3000人を目指している状況にあり、隊員の確保には厳しい状況となっているので、速やかに募集を始めます。

問 単身者用住宅を新築しますが、住宅不足は続いているように思っています。不足解消については？

答 昨年、制度化した従業員住宅への補助で、単身者用が10戸建築されています。また、空家バンク制度や、新築住宅などへの補助による定住対策強化など、役場内で横の連携を図りながら本村に住みたい人に対応したいと考えています。

## 佐藤吉人議員

問 (故)長谷川道子さんのピアノをふるさと情報館「みなくる」に展示することになった経緯は？

答 道子さんが使っていたピアノを京都の友人が所有されており、長谷川さんが昭和の時代に過ごした鶴居村で保管・保護するのが良いのではないかとの話があり、採納することになりました。



「みなくる」に来た(故)長谷川道子さんのピアノ

## 長谷川光二・道子夫妻

「湿原の聖人」と言われる長谷川光二氏は、明治32年東京日本橋の老舗家具屋の次男として生まれ、東京高等商業学校(現一橋大学)卒業間近の大正12年に関東大震災で、家業や学業成果など多くのものを失い、昭和3年に鶴居村のキラコタン岬の近くに入植。

広大な原野で原始林を開墾し、生きるための最低限の生活を営み、家族を育て、牧場を営み、学問をし、俳句を詠み過ぎた長谷川光二氏は「原野の俳人」とも言われています。

その妻の道子さんは旧上野音楽学校出身の才女で、北海道教育大学釧路分校の音楽講師を務めていました。自宅では、世界のピアノメーカー御三家であるスタインウェイのピアノを奏でていたそうです。



## 平成28年度一般会計補正予算

# 6億87万2千円 増額！

### 平成28年度補正予算

- ・一般会計補正予算  
6億87万2千円を追加し、総額42億5187万2千円とする。
- ・国民健康保険特別会計補正予算  
103万2千円を追加し、総額4億2443万2千円とする。

## 6月 定例会

第2回定例会は6月20日に開会し、21日に閉会しました。はじめに村長から村政執行方針と教育長から教育執行方針がありました。議案は11件で、報告2件、条例制定1件、条例改正4件、計画策定1件、補正予算2件、陳情1件が上程され、すべての議案が原案通り可決されました。

### 老人福祉住宅

設計委託  
675万円

ひとり暮らしの65歳以上を入居対象とし、平成13年に建築した老人福祉住宅(1棟5戸)を増築し、新たに5戸の住居と交流スペースなどを建築する設計委託です。

### 単身者用村有住宅

購入費  
5540万円

単身者用住宅の不足を解消し、定住化を促進するため、民間事業者による提案型買取方式により、2棟6戸を鶴居東3丁目に建築します。

### 高齢者等個別移動

サービス事業  
48万円

高齢や障がいなどから自動車運転できないなど、村内の移動に困難を抱える高齢者を対象に、村社会福祉協議会(村ボランティアセンター)に登録する支援者が所有する自家用車で送迎を行う個別移動サービス事業を開始する経費です。

移送範囲は村内に限ります。また、利用料金は、1時間以内500円、超過は10分につき100円となりますが、村が利用料金の50%以内を助成します。

### (故)長谷川道子氏の

ピアノ展示経費  
90万円

本村の芸術文化や教育の振興などに寄与された(故)長谷川道子氏使用のピアノを、ふるさと情報館に展示する経費です。

### 旧鶴居軌道車両改修

160万円

ふるさと情報館前に展示している旧鶴居軌道車両を塗装・補修し、内部も公開する工事費です。

### 「つるぼーの家」

運営支援事業費  
187万円

今年4月28日にオープンした地域特産品等販売促進施設「つるぼーの家」の運営安定化と、地域経済活性化による雇用創出などを図るため、村と観光協会が出店する物産イベントで商品を出品および景品として提供する経費と、ラジオCMを作成し放送する経費、視聴者プレゼントの経費です。



今度は内部も公開します



# 平成27年度 (株)鶴居村振興公社 事業決算報告

平成27年度の振興公社の事業運営は、春先から好天に恵まれ、「パークゴルフ場」は入込客数・売上ともに前年度より増加しましたが、「運動広場」減少する結果となりました。

また、「どさんこ牧場」は乗馬料金などの施設利用料金の適正化をはかり、利用者の拡大に努めた結果、前年を上回りました。

委託管理事業の「酪楽館」は「第10回ALL JAPANナチュラルチーズコンテスト」で鶴居ゴールドラベルが連続で金賞の栄を受け、チーズやアイスクリームなどの順調な売上により、前年度を大きく上回る結果となりました。

その他の事業についても順調に業務を終了することができました。

平成28年度については、「つるぼーの家」の管理委託を担うことになり、村民の皆様にご喜ばれる施設となるよう運営していきます。



	科 目		金 額(円)		合計金額(円)
	売 上 高	委託事業料売上	62,092,151		A
公社運営売上		89,755,898			
指定管理料		21,520,000			
売 上 原 価	期首棚卸高	4,619,948	B	135,606,016	
	公社管理運営部門原価	135,679,249			
	期末棚卸高	△4,693,181			
損益計算書	売上総利益 (A-B)			C	37,762,033
	事業管理費			D	30,989,374
	営業利益 (C-D)			E	6,772,659
	営業外収益	受取利息	23,880	F	1,477,187
		雑収入	1,453,307		
	営業外費用	退職給付引当金繰入損	△225,634	G	△225,634
	経常利益 (E+F+G)			H	8,475,480
	税引前当期純利益			I	8,475,480
	法人税住民税および事業税 (I-J)			J	2,077,700
	当期純利益			K	6,397,780



# 一般質問

## 村政のここを問う

5人の議員が8項目の質問

### 「訪問入浴介護」と「入浴介助」は？

積極的なアプローチを！

### 介護者、要介護者の負担軽減に取り組む！

地域包括ケアシステムの着実な構築を目指す！



松井 洋和 議員

現在、村内でこのサービスを利用されている方はおらず、居宅介護サービスを受けられている要

「訪問入浴介護」は、介護保険事業の居宅介護サービスの一つで、看護師や介護士などの専門スタッフが、移動式入浴車で要介護者の自宅を訪問して洗髪や洗体を行い、入浴前後には、血圧や発熱などの健康状態をチェックするなど、要介護者の入浴全般をサポートする介護サービスです。

#### 大石 村長

国が在宅医療、在宅介護を推し進めるなか、今後、介護する家族の負担も大きくなると思います。その中でも入浴介護は介護する側にとって大変な作業となっております。そこで鶴居村の訪問入浴介護と訪問介護の入浴介助の現状と今後について伺います。



大変な入浴介護

介護者の多くは、「ほのぼののセンター」の入浴サービスを受けています。一方、要介護者ご自宅で入浴される際には、訪問介護員であるホームヘルパーが身体介護の一つとして「入浴介助」のサービスを提供してありますが、現在のところ、その利用者はいません。

在宅介護の「入浴」は、要介護者と介護者であるご家族など、両者にとつて負担が大きいものとして負担が大きいものと理解しています。村としても、これまでと同様、ケアマネージャーを通じて、引き続きデイサービスの「入浴サービス」や、ホームヘルパーによる「入浴介助」の希望者にはサービスを提供できる体制の維持に努めていきます。

介護者で「訪問入浴介護」を希望される方には、これまでと同様にサービスが受けられるよう、鉦路市や鉦路町でサービスの提供を行っている事業者と連携しながら、要介護者や介護をされるご家族など、両者の負担軽減への取り組みも進めていきます。

高齢者などが可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、「訪問入浴介護」や「入浴介助」などを含めた地域の包括的な支援・サービス提供体制である「地域包括ケアシステム」の構築に向け、村直営で運営しているホームヘルプサービス事業所や居宅介護支援事業所の充実と、各医療機関や関係団体との連携強化を図りつつ、その構築を着実に進めたいと考えています。

## 学力テストへの村の対応と見解は？

学力偏重や過度の競争意識など全国的には問題視される例も！

## 心・体・学力を並行して育てていく！

各種テスト内容や実態調査を活用し学力向上を図る！

及川 満浩 議員



集中して勉強中！

2014年に「子ども  
の貧困対策の推進に関する法律」が施行、「子ども  
の貧困対策に関する大綱」  
が策定されました。  
これを受け、道も昨年  
度「北海道子どもの貧困  
対策推進計画」を策定し、  
今年度より具体的な施策

**子どもの貧困  
への対応は？  
常に現状の把握  
を行っている！**

の展開が始まります。  
村としては、まず村の  
現状を把握することが重  
要なのではないでしょうか。  
そのための調査の実  
施について伺います。  
また、村としての「子  
どもの貧困」への対応を  
伺います。

「生活保護世帯」や「ひ  
とり親世帯」などは、常  
に現状の把握を行ってお  
り、窓口相談などの対応  
も行っていきます。改めて  
子どもの貧困の調査の実  
施は考えていません。  
庁内連携、民生委員協  
議会や社会福祉協議会な  
どの関係団体との連携を  
図りながら、子どもたち  
の将来が、その生まれ育つ  
環境に左右されること  
のないよう、村としても、  
引き続き各種福祉施策な  
どの推進による村民生活  
の安定に努めます。

全国学力・学習状況調  
査も10年目を迎えました。  
過去の経過を踏まえ「学  
習成果を検証し指導の改  
善に役立てる」という狙  
いを明確に掲げて実施さ  
れていました。  
道教育委員会が推奨し  
ているチャレンジテスト  
の実施やCRT（目標基  
準準拠検査）、NRT（標  
準学力検査）との関係も  
含め村の全国学力・学習  
状況調査に対する現状を  
伺います。  
学力偏重や過度の競争  
意識の醸成など全国的に  
は問題視されている例も

「希の杜」分譲地の販  
売を開始しました。  
下幌呂地域の住民や移  
住されてきた住民と行政  
が、地域の将来像を共有  
するために、意見交換を  
する場を設けてはいかが  
でしょうか。

**下幌呂住民や移住  
者と意見交換を！  
現状では考えて  
いません！**

### 国安教育長

見受けられます。村の見  
解をあらためて伺います。  
全国学力・学習状況調  
査は今年度も、4月19日  
に実施し、その結果が8  
月末に文科省から公表さ  
れます。  
チャレンジテストは、  
授業の中で取り組み、定  
着が図られるよう繰り返  
し学習をしています。  
また、NRTを村費負  
担で、独自に実施してい  
ます。  
学校教育での重要な柱  
が「強くたくましく生き

### 大石 村長

### 大石 村長



吉田 保博 議員



### バイオマス産業都市を軸とした村づくりは？

今後の見通しと現在の進捗状況は？

### 年度内に認定の可否決定の通知がなされる予定!

今後、企業側の計画に対する進捗状況を注視!

昨年の12月定例会での私の一般質問「循環型酪農の推進」に対して、「本村の酪農経営の充実強化や、新たな雇用創出による地域経済の活性化などに結び付く重要な施策であり、さらに調査研究を進め、農業団体や地域との連携を図りながら、早期実現に向けた取り組みに努めていく」と非常に前向きな答弁をいただきました。

さらには、村政執行方針でも「地域の特徴を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしい村づくりを目指し、国のバイオマス産業都市認定取得を目指した取り組みを推進する」とありますので、これに関して質問をします。

バイオガス施設は、北海道を中心に急速に増え、再生可能エネルギー固定価格買取制度(1kW時当たり39円で20

年間売電)により、高額な設備投資も順調に発電できれば回収可能と謳われています。「酪農畜産地帯としてのメリットは計り知れないもの。将来を見据えて普及すべき。」と言及する方もいますし、村内の酪農家の関心も非常に高い状況です。村内一般家庭の電気料金の軽減の可能性もあり、村全体にメリットがあると思えますが、一方でデメリットも検証しなければならぬと考えます。そこで、村長の見解を伺います。

再生可能エネルギーの活用における環境施策の取り組みは、村としての調査研究などを実施するとともに、民間企業の参入による、村内での家畜糞尿バイオガス・プラントの建設計画も予定されています。また、村では現在、国の関係7府省が共同で選定する「バイオマス産業都市」の認定を受けるための取組みを進めています。

この「バイオマス産業都市」は、地域のバイオマスを活用した産業の創出と地域循環型のエネルギーの強化により、環境に配慮した災害に強い村づくりを目指すものです。国は平成31年度までに現在の全国34地域から100地域への拡充を目指しているところですが、認定を受けた地域では、関係する府省の施策(補助事業の活用や、制度・規制面での相談や助言)など、関係府省の連携した支援を受けられるメリットが得られます。

①認定の申請状況 募集期限の7月上旬を目途に、国が定める要綱に沿った、バイオマス産業都市構想案とバイオマス活用推進計画を作成し提出します。国の審査を経て、年度内に認定の可否決定通知がなされる予定です。

②組織づくり 現状ではその意向は持ち合わせていませんが、今後その必要性を見極めながら、検討したい。

③情報発信 現在、村内で計画されている家畜糞尿バイオガス・プラントの建設は、民間主導による取り組みです。今後、建設整備計画が本村としては、今後の企業側の計画に対する進捗状況を注視し、村内農業団体などの連携により、村としての対応の在り方など具体的な検討に入りたい。

④建設計画の状況 企業側が抽出農家への戸別訪問を行い、実際に利用可能な家畜糞尿の賦存量や成分調査などを実施しています。



清和農場のバイオガスプラント

## 今後の養生邑病院と村の関係は？ 新たな医療法人での運営が始まっていますが？

より具体的な医療・介護の議論を深める！  
新たな提案がなされるものと期待！

佐藤 吉人 議員



「つるい養生邑病院」は昭和59年に開設され、昨年からは医療法人資生会による新・養生邑病院の運営が始まっています。永年、地域医療に関わる施設として老健施設「えんれい荘」に村民も複数入所されています。同院は現在、村からの業務委託でデイサービス（ほのぼのセンター）の施設運営をされていますし、最近では、釧路市内の総合病院の精神科や神経科が次々と診療縮小や診療中止を決めるなかで、ますます心の病を持つ人にとって貴重な医療施設と聞いています。

さらに認知症をはじめとする急速な高齢者の増加で、老健施設への入所も難しいようですし、ショートステイ（一時預かり）も難しくなってきていると聞きます。

今後の同院と村の関係について伺います。

大石 村長



村の医療・介護を支えている「つるい養生邑病院」

昭和59年の開院以来、30年余にわたり、本村の地域医療の推進に重要な役割を果たして来られた「医療法人養生邑」が、昨年、「医療法人資生会」の傘下となりました。

医師の確保など、より充実した医療体制が整えられつつあると伺っています。

開院以来、精神科を中心とした医療機関ではあるものの、内科診療や介護老人保健施設「えんれい荘」の併設など、医療や介護関係施設が少ない本村にとっては重要な施設であり、その経営が引き継がれた後も、村の地域医療や介護事業を支えていただけるものと期待をしています。

昨年来、数度にわたり、

「医療法人養生邑」の新理事長となられた「医療法人資生会」の理事長との面談を行いました。

また、村の医療・介護の担当部局である保健福祉課と養生邑病院との間でも、事務レベルでの意見交換も行っています。

面談や意見交換では、ここ数年、えんれい荘の入所者が増加していると伺っています。

また、現在、業務を委託しているデイサービス事業についても、法人側からは、引き続き村の介護事業を支えていく旨の意欲を感じているところであります。

村と同法人との今後の関係については、高齢化が進展する地域社会では、養生邑病院やえんれい荘は欠かせない医療・介護施設です。

例えば、新たな介護保険制度の主眼である「地域包括ケアシステム」の構築に向け、国により示されている「認知症施策の推進」では、認知症の方ご本人や家族支援などの初期支援を包括的・集中的に行う「認知症初期集中支援チーム」の構築が求められています。

養生邑病院には、認知症の鑑別診断などを行うことができる「認知症サポート医」の資格を有する医師が在職されていると伺っており、村の認知症対策における協力的体制の構築が考えられます。

今後は、より具体的に地域医療や介護事業についての議論を深めることとしており、事務レベルでは定期的な意見交換会の開催についても申し合わせています。

同法人には村の現状を十分ご理解いただいた中で、地域医療や介護事業に対する新たな提案がなされるものと期待しています。

村と同法人との今後の関係については、高齢化が進展する地域社会では、養生邑病院やえんれい荘は欠かせない医療・介護施設です。

例えば、新たな介護保険制度の主眼である「地域包括ケアシステム」の構築に向け、国により示されている「認知症施策の推進」では、認知症の方ご本人や家族支援などの初期支援を包括的・集中的に行う「認知症初期集中支援チーム」の構築が求められています。

養生邑病院には、認知症の鑑別診断などを行うことができる「認知症サポート医」の資格を有する医師が在職されていると伺っており、村の認知症対策における協力的体制の構築が考えられます。

今後は、より具体的に地域医療や介護事業についての議論を深めることとしており、事務レベルでは定期的な意見交換会の開催についても申し合わせています。

同法人には村の現状を十分ご理解いただいた中で、地域医療や介護事業に対する新たな提案がなされるものと期待しています。



大津 泰則 議員



### (仮称)地域政策室の内容は？

第5次総合計画などは？

### 多様化した行政需要に対応！

総合計画は現行の所管で対応！

大石村長になってから新たに「観光振興ビジョン」「まち・ひと・しごと総合戦略」「過疎地域自立促進計画」が策定され、今年度からは「第5次総合計画」の策定作業が始まります。

今年度、地域振興に資する(仮称)地域政策室が設置されます。

①「第5次総合計画」では、3つの計画の整合性を保たなければならぬと思います。これらのことも地域政策室の対応となるのか。

②長期戦略の「人ロビジョン」「まち・ひと・しごと総合戦略」は、地域政策室で対応するのか。

③今回提案された地域政策室長は課長補佐職ですが、各課を横断的に政策立案を行う非常に重要な業務なので、今後、地域政策室長を課長職待遇にすべきと思いますが、村長の見解を伺います。

大石 村長

我が国を取り巻く社会経済環境は、少子高齢化の急速な進展など、まだまだ先行き不透明な状況にあり、人口減少の影響などから、更なる過疎化の進行が予測される中、持続可能な村づくりを推進するため、総合計画はもとより、地方創生の推進に向けた新たな戦略施策や各種計画を策定してきました。

その一方で、今日の行政運営については、広範な事務事業の専門性などが求められ、事務量が増加傾向にあるなど、多様化した行政需要に対応できる組織体制を常に考慮しています。

そこで、次期総合計画の策定に向けて、他の計画との一本化に向けた対応などについては、これまで同様、村事務分掌条例ならびに分掌規程で定

める範囲内で、最大限、企画調整機能が果たされていくべきものと考えており、現行の所管で対応していきます。

また、新たな担当所管を設置する場合の職員配置についても、当面の人事では、私の人事案件の範ちゅうで、現行の体制を維持する中で進めるべきものと考えています。

観光を産業に！

協力して前進！

鉦路新聞に「観光振興を推進して、観光を新しい産業に」との大石村長の報道がされていきました。

今後、観光産業に係る商工会・観光協会・行政とがしっかりと手を組み、一つの施設で情報発信を行い、観光振興を行っていくことが産業化への足

掛かりとなると思っています。

村長の「観光を産業へ向けて」の思いの一端をお聞かせ下さい。

大石 村長

経済成長の時代から成熟社会に移行された今日、待ちの姿勢では将来の戦略は描けるものではないと考えます。

前進させていかなければならないものと考えています。



観光のアンテナショップに！

当地域のブランド力や観光資源をより高めていくためにも、酪農や観光などが相互に連携し、村内の各事業者が意欲を持って取り組んでいけるよう、関係機関、関係団体が将来の目指す姿を共に考え、



# 委員会活動報告

## ともに考えよう！鶴居型コレクティブハウジング

### 総務常任委員会

7月14日に釧路町に視察に行きました。

#### ●出席議員

- 委員長 大津泰則
- 副委員長 松井洋和
- 委員 及川満浩

総務常任委員会では、前年度に「地域包括支援センター医療体制等の現状と今後の方向性」というテーマで、保健福祉課長・係長より説明を受けた際に、「高齢者の住宅問題や住みなれた地域での生活の確保」などの新たな問題提起がなされたことを受け、今回の「釧路町コレクティブハウジング」の所管調査を行いました。

釧路町役場の南都市建設課長・佐藤介護高齢課長をはじめ6名の職員から、コレクティブハウジング建設に至った経緯や



遠矢コレクティブハウスの外観

現状の説明を受けました。地域住民による、高齢者を支える取り組みや施策の展開により、公営住宅を核として入居者だけでなく、地域全体で支え合う住環境について様々な提案をもとに「釧路町型」の協働による住まいづくりを目指し、入居者同士の支え合い、他世代地域交流といった、安心・安全で快適な住環境をみんまで考えて建設された施設でした。



コレクティブセンターで「ふまねっと」

- Q** 新規の公営住宅は付加価値を付けないと国が認可しないため、高齢者福祉などの機能をもった公営住宅を建築しましたが、行政内の横の連携が重要だったのでは？
- A** 建設と介護福祉の連携が必要で、そのために一年を費やしました。
- Q** この整備計画には、どのように住民の声が反映したのですか？
- A** ワークショップでの会議を持ちました。

- Q** 趣旨を理解する入居者の確保は大変なのは？
- A** 一部そのような場合も見受けられます。
- Q** 入居希望者に模擬体験をさせていますが、入居までの期間は？
- A** 入居の模擬体験には約一年かけています。
- Q** 一階部分の高齢者住宅での特徴は？
- A** 生活支援員(LSA)が毎日高齢者宅を訪問したり、さらに、併設しているコレクティブセンターで24時間対応を行っています。
- Q** 人間関係での問題は無いのでしょうか？
- A** LSAが一日に一回は訪問するので、悩み・苦情についてはしっかりと対応しています。

### 委員会構成変更

佐藤吉人議員から一身上の都合により、広報広聴常任委員会と議会運営委員会の辞任の申し入れがあり、委員会の構成が変わりました。

#### 広報広聴

#### 常任委員会

- 委員長 秋里広志
- 副委員長 松井洋和
- 委員 大津泰則
- 委員 及川満浩

#### 議会運営委員会

- 委員長 松井洋和
- 副委員長 大津泰則
- 委員 秋里広志
- 委員 吉田保博



# 臨時会

5月24日に第2回臨時会を開会しました。

議案は、条例改正3件

と平成27年度一般会計補

正予算1件の専決処分が

原案通り承認されました。

(全員賛成)

また、副村長・監査委

員・固定資産評価委員の

選任について原案通り同

意されました。

(全員賛成)

## 平成27年度補正予算

### ・一般会計補正予算

390万2千円を減額し、  
総額38億2803万1千円とする。

## 固定資産税の減免措置

- ・太陽光発電設備…3分の1減免
- ・風力発電設備……3分の1減免
- ・水力発電設備……2分の1減免
- ・地熱開発設備……2分の1減免
- ・バイオマス設備…2分の1減免

※上記の適用範囲は、10kW以上の  
全量売電に係る個人・法人に対  
して3年間の減免措置とする。

## Q & A

問 村税条例の改正で

「わがまち特例」として、

自然再生エネルギー設備

の固定資産税を特例措置

として減免しますが、用

途によって減免割合が違

うのは？

答 「わがまち特例」と

して村で½から¾までの

範囲内で減免割合を決め

られるが、国や近隣自治

体を参考に決めています。

## 副村長の選任

山田 秀明 氏(59歳)  
再任 任期4年間



## 監査委員の選任

佐瀬 正人 氏(68歳)  
新任 任期4年間



## 固定資産評価委員の選任

石脇征次郎 氏(74歳)  
再任 任期3年間



野澤 弘幸 氏(48歳)  
新任 任期3年間



## 議会報告

釧路公立大学3月定例会

3月25日 秋里広志

道東4地区管内町村議会

議長会連絡協議会

5月10・11日遠軽町

松井議長

釧路町村議会議長会

5月定例会

松井議長

北海道町村議会

議長会理事会

5月18・19日札幌市

松井議長

釧路北部消防

事務組合議会臨時会

5月24日 吉田保博

及川満浩

松井洋和

町村議会議長・副議長

研修会

5月29～31日東京

松井議長

松井副議長

北海道町村議会議長会

定期総会

6月9・10日札幌市

松井議長

## 議会傍聴に来ませんか？

9月は決算特別委員会があります

次回の定例会は9月中旬の予定です。お気軽にお越し下さい。

# よりよい「むらづくり」のために

## 北海道町村議会研修会



毎年恒例の北海道町村議会議員研修会が、7月5日に札幌の「コンベンションセンター」で開催され、全道144町村の議員が参加しました。

今年度は、ドラマ「ナポレオンの村」のモデルになったスーパー公務員、立正大学客員教授の高野誠鮮（じょうせん）さんと、「ここまですべて委員」と、「ここまですべて委員」で有名な、東京新聞・中日新聞論説副主幹・ジャーナリストの長谷川幸洋さんの講演です。

### 「ひじを動かす、まぢを動かす」

高野 誠鮮さん



高野さんは今年3月まで羽咋（はくい）市の職員で、現在は日蓮宗「本證山妙山寺」第41世住職であり、立正大学客員教授でもあります。

総務省地域力創造アドバイザーをやっていた関係で、羽咋市から職員としての要請があり、過疎地域だった神子原地区の町おこしを担いました。今、多くの自治体は過疎・高齢化が進み疲弊しています。羽咋市の神子原地区は人口459人、高齢化率50%を超え、18年間子どもが生まれなかった地区

です。

彼は、その原因を徹底的に分析して、そこに住む人々が、地域や組織を作り上げて行くことで、農業所得の向上を目指し、また大学の合宿の誘致などで、地元のまぢの良さを外から気付かせてくれる大切さを話してくれました。

また、天皇陛下やローマ法王、アメリカ大統領へ神子原で採れたお米を献上米として贈るなど、決してあきらめず、自ら実践していく行動力、自分を信じて前に進む行動力の素晴らしさは見習うべきものがあると感じさせられました。こういう人が町に一人でも二人でもいて、また、それを理解し支える人との出会いが、町おこしを成功へと導きだしていると感じました。

### 「日本の行方、政局、政治展望」

長谷川幸洋さん



長谷川さんは、東京新聞・中日新聞の論説委員、ジャーナリストとして活躍中で、テレビ「ここまですべて委員会」のメンバーでもあり、テレビ番組の出演者の裏話など交えながらの講演でした。

日本と中国の関係では、なぜ中国に尖閣諸島は狙われるのかについて、その周辺に眠っている莫大な天然ガスと油田が原因となっている。また、中国が余りにも強大であるので、日米同盟で自国を守るしかなく、外交をスムーズに進めるためには問題の相手と話

さず、第三国を味方につけることが重要であることを話していました。

いま世界は、「平和と繁栄」から「テロと戦争」の時代に代わりつつあり、日本は今まで、金・人・物で国際貢献を果たしてきたが、現状ではその意義は認められていないと話していました。

長谷川氏は「憲法改正」には賛成であるが、憲法改正は国民がすることではないから、国民のアンケート調査では憲法改正に賛成が三分の一、反対が三分の一、どちらとも言えないが三分の一なので、結果、現状維持にならざるを得ないということでした。

最後に話された「政治家は、正しいことを理解した上で出来るかどうかを判断するものである」という言葉が印象に残りました。



鶴居村

つるい議会だより

平成28年7月31日発行 150号

発行 北海道鶴居村議会  
編集 広報広聴常任委員会

〒085-1203 鶴居村鶴居西1-1  
0154-64-2511

# 丘の上の応援団！

(株)丘の上のわくわくカンパニー



（株）丘の上の

わくわくカンパニー

代表取締役 服部佐知子

北海道育ちの私。子供の頃の夢は、お料理の先生。高校卒業後、憧れの、大阪の調理師専門学校へ。お料理の仕事をする中で湧き上がった、食の安全への思い。

家族と共に、生まれ育った北の大地への移住を決意しました。

色とりどりの花やハーブが咲き乱れる丘を夢見て…。鶴居村の丘の上に住んで20年がたちました。

ガーデンからの採れたての野菜やフレッシュな香りのハーブ、絞りたての牛乳、手作りのチーズを使ってお料理を作る。なんて幸せ！

この幸せを皆さんにもおすそ分けしたい！

豊かな自然、ヨーロッパのような景色、大好きな鶴居村と酪農のために私ができること。

18年前、丘の上に酪農の応援団として、ミルク料理のレストラン、ハーブショップが誕生しました。

メニューには、すべて牛乳を使っています。コーヒーにも、温めたたつぷりの絞りたての牛乳を添えます。5年前、ハーブショップに念願のチーズ工房もできました。これで、村の牛乳をレストランで使うことができます。

次への夢は、各農家の牛乳を商品にすることです。日本で最も美しい村に認定された鶴居村。ハーブが大好きな仲間の会『ハーブマジック』。鶴居村が、日本で最も住みたい村になったらいいねと、オシャレに素敵なおもてなし！花とハーブが溢れる村をテーマに活動をしています。

3年前から役場の前、駐車場のコンテナに花とハーブの寄せ植えのお手伝い。商工会女性部でも、各事業所の前や「つるいの家」の前のコンテナに寄せ植えを置いています。

今後、自治会や農協などとも連携して、ヨーロッパのような素敵な統一感のある空間を作っていきたいと思っています。



丘の上のヨーロッパのような素敵な空間で！

## 広報広聴常任委員会

- 委員長 秋里 広志
- 副委員長 松井 洋和
- 委員 大津 泰則
- 委員 及川 満浩



問伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。